

基礎英語【第10回】

- 身近な会話(2)
- 電子メール文の作成
- 覚えておくと便利なフレーズ(1-5)

講師 吉村 理津子

身近な会話(2)

前回の授業では「身近な会話(1)」として「初対面の挨拶」、「道案内」を扱いました。今日は、海外旅行中の移動時に英会話を楽しむコツを一緒に学びましょう。

機内／船内での会話（1/3）

＜飛行機内、船内で席が隣り合わせとなった外国人との会話＞

海外旅行中は飛行機や船での移動時間が長く、隣り合わせになったひとと英語で話す機会も多いと思いますが、各々の時間の過ごし方は様々で、中には睡眠をとりたい、機内エンターテインメントを楽しみたい、あるいは仕事をしたい、等の目的を持って座っている人もおり、むやみに話しかけるのは避けなければなりません。それをふまえた上で、隣席の乗客との対話を楽しめば、これも旅行のよい思い出のひとつとなります。ここでは機内でこのような会話を交わすことになった場合のコツを紹介します。

—————

1. ロングフライトの場合は隣席の人に(にっこりと)軽く挨拶しましょう → とても大切です!

- Good morning / Good afternoon / Good evening
- Hi/Hello, how are you?

2. 離陸前に軽く話しかけてみましょう

会話のきっかけ:

- Are you on vacation / on holiday(s)?
- Are you on business?
- Is this your first trip to Japan?

機内／船内での会話 (2/3)

礼儀として自分のことも話す:

- I'm visiting Boston to study.
- I'm visiting my cousin in Boston.

話がはずんだら自己紹介:

- I'm Michiko. Nice to meet you.
- How may I address you? (相手の名前が発音しにくい場合に)

3. ゆっくり話すなら食事のとき

出身地を聞く:

- Where are you from?
- Which part of Australia are you from?

旅の長さを聞く:

- How long did you stay in Japan?
- How long will you stay in Osaka?

機内／船内での会話 (3/3)

旅程や観光:

- Where are you planning to go in California?
- In Osaka, you should visit Osaka Castle.

お勧めの食べ物、レストラン:

- Do you know any good seafood restaurant in San Francisco?
- In Singapore, I'd like to try local food. Where is a good place for it?

4. メールアドレスや名刺の交換、御礼・挨拶

名刺／メールアドレス交換

- Why don't we exchange our e-mail addresses?
- Here's my name card. May I have one of yours, too?

御礼・挨拶:

- Thank you for a great time. I hope to see you sometime soon.
- It was nice meeting you. Take care and have a wonderful trip.

電子メール文の作成

旅行中等プライベートな時間に知り合い、電子メールのアドレスを交換したひとには、是非電子メールを送ってみましょう。ビジネス上の知り合いではありませんから、比較のカジュアルな文面でもOKです。ただし、そのような電子メールであっても、抑えておくべきポイントがありますのでご紹介します。

電子メールの基本構成 (1/3)

＜電子メールの基本構成＞ 一般的に、電子メールは「件名」・「頭語」・「本文」・「結語」から構成されます。ここでは、各項目ごとにカジュアルな電子メール文の作成に不可欠なポイントをいくつか紹介します。

●件名： 友達あての電子メールの件名に“Hello”と記す人が多いようですが、この言葉は本文に含めることができますので、別の言葉を選びましょう。

お礼の電子メールを出したいときは、例えば”Thank you for a good time on flight JL007”、あるいはご挨拶のための電子メールを出したいときは、”Greetings from Ritz, Tokyo” 等とし、相手が自分を確実に思いだしてくれるよう工夫します。

注：迷惑メールボックスに振り分けられないよう、件名には free や special 等といったワードは使わないようにしましょう

●頭語： 電子メールを（その人に）初めて出すときは、Dear Mark: もしくは Dear Mark, 等のように Dear を付し、親しくなったら Hi Mark: もしくは Hi Mark, Mark: もしくは Mark, 等のように記しましょう。

注：頭語のあとには ,（カンマ）もしくは :（コロン）を付けます。

●本文： 英語の電子メール／レターでは、通常は時節の挨拶等を含めず、いきなり用件から始めます。もし、時節の挨拶に準ずる文を含めるならば、最後のパートにそれを入れましょう。

●結語：初めて電子メールを出すときは、Best regards, Yuki のように記します。親しくなったら、単に Best, Yuki でもかまいませんし、あるいは All the best, Yuki あるいは With love, Yuki のようなフレーズも使ってみましょう。

電子メールの基本構成 (2/3)

<簡単な電子メール文を作成してみましょう>

設定：送信者のマチコと受信者のメアリーは、友達として時折カジュアルな電子メールを交換しあっています。

昨日メアリーからマチコに電話が入り、明日メアリーがマチコの家をおとずれることになりました。

以下メアリーの来訪に関してマチコがメアリーに宛てた電子メール文です。これを英訳してみましょう。

メアリー：

昨日は電話をありがとう。久しぶりのお電話、大変うれしかったです。

明日は、午後2時半にA駅の改札口で待っています。

お会いできるのを本当に楽しみにしています。

明日から寒くなるようなので気を付けて。

マチコより

電子メールの基本構成 (3/3)

<参考> 以下は、飛行機の客室内で知り合った人に初めて送る電子メールのサンプルです。

件名： Thank you for a good time on flight from Tokyo

Dear April:

Do you remember me, Yuki Yoshida? We met and enjoyed a conversation on the flight from Tokyo to San Francisco last month . I hope you've been very well since then.

As for me, I got home last week after a pleasant trip in California. During the two-week trip, starting from San Francisco, I visited Yosemite, L.A, and San Diego. Your advice about touring those places was very useful and I really enjoyed the trip.

Thank you again for a wonderful time on that flight and I look forward to hearing from you.

Best regards,

Yuki

覚えておくと便利なフレーズ集

1 - 5

参考資料 覚えておくと便利なフレーズ 1

★今何時ですか★

学校では一様に”What time is it now?”と習ったと思いますが・・・

英語圏の人たちは、実際は以下のように言います：

- Do you have the time?

【注】the time は時刻。「今少し時間ある？」= Do you have (a) time?です。
注意しましょう。

- What's the time (now)? (英国、NZ, オーストラリアなど)

- You got the time?

参考資料 覚えておく と 便利な フレーズ 2

★トイレはどちらですか★

日本では、「おトイレお借りできますか」と上品におっしゃるご婦人が多いですが・・・

トイレ→便器ととられることが多いので注意しましょう。

英語圏の人たちは、実際は以下のように言います：

- May I use the bathroom? (どなたかのお宅におじゃましたとき)
- Where's the restroom? (お手洗いはどちらですか)
- これらの文を使って、powder room(女性用)、ladies(女性用)、gents(男性用)、washroom (男・女用)・・・と言うのが無難です。

参考資料 覚えておくと便利なフレーズ 3

★どういたしまして★

“Thank you” と言われたら、「どういたしまして～」といたくになりますが・・・

英語圏の人たちは、実際は以下のように使い分けています：

- You're welcome. (ほとんどの場合もOK)
- No worries. (オーストラリアやNZで頻用)
- My pleasure. (手数をかけたときのThank you に対して返すとき)
- Anytime. (たいしたことじゃないのでいつでも～の意。この先会わない人には使いません)
- その他、Not at all. (丁寧)、That's OK. (sir/ma'amを付ければ丁寧)、
Don't worry about it/Don't mention it. (please を付ければ丁寧)、
Sure(カジュアル)……等々

参考資料 覚えておくと便利なフレーズ 4

★ごめんなさい、すみませんと言われたら・・・★

日本では、「いいえ～」と言ってしまうますが・・・”sorry”に対し、Noと言ってしまうと、とんでもないことになりますので注意が必要です。

英語圏の人たちは以下のように返答します：

- That's OK./It's OK.
- No problem.
- Don't worry about it.

一方、もし容認できないようだったら：

- You should be (謝るべきでしょう)
- That's not OK.
- That's not OK but don't do it again(大丈夫じゃないけど・・・もう2度とやっちゃだめだよ)

参考資料 覚えておくと便利なフレーズ 5

★どうぞ…★

日本人の感覚で、つい Please と言ってしまいそうですが…

英語圏の人たちは以下のように言います：

- Here you are. / Here you go. : レストランなどで食事をテーブルに置くときなど、何かを差し出そうとするとき
- Go ahead, please. / After you, please. : 電話で「どうぞ(お話下さい)」というとき、エレベーターをおりる際「お先に」というとき

参考文献

全国英語問題研究会編, 2016, 「トレーニングノート英文法・作文」, 受験研究社